

患者さんの保護者の方へ

臨床研究（調査研究）へのご協力をお願い

この度 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科では 当科に入院され、遊びプログラムに参加した患者さんを対象にカルテに記載された病状と、それに対する医師の評価について調査（研究）を行っております。こどもたちの社会における行動を簡易に評価するための尺度を作ることに役立つと考えております。

研究課題名：児童の遊びにおける心理社会的評価尺度に有用な項目の検討

研究の目的：本研究の目的は、こどもの向社会行動を簡易に評価できる尺度を作ることです。こどもたちが退院した後でうまく生活できるかどうかを計測する方法として「向社会行動評価尺度」という“ものさし”があります。しかし、これは、観察する項目が生活全般の多岐にわたり、時間と人がたくさん必要です。そこで、わたしたちは、入院中の治療の一環として行っている遊びプログラムを利用して、短時間で効果的に向社会行動を評価できる尺度を作ることを検討しています。

研究に利用する情報の項目：患者さんの情報（性別、年齢、診断名）、カルテに記載された情報（病状、遊びプログラムの感想、遊びプログラムでの様子）

研究対象の範囲：2017年4月1日から2020年3月31日までの間に当科に入院した患者さんのうち、遊びプログラムに参加した機会があった方（20名程度）が対象です（遊びプログラムに参加した場合は、保護者の方はその旨を担当医から報告されています）。診療記録を使用して、医療者が着目している患者さんの行動を抽出します。これにより、遊びのなかで向社会行動を評価できる行動を検討します。

情報の管理について責任を有する者：地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター
児童思春期精神科 新井 卓

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日（2017年2月28日一部改訂））に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで統計的な処理をするため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は、児童精神科の研究費で行っており、外部機関から研究費の資金提供を受けていません。

本研究の対象となる患者さんで、ご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合も診療において不利益を被ることはございません。なお、研究結果の公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

連絡先： 研究責任者 児童思春期精神科 新井 卓
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel：045-711-2351 内線 2212